





「こんな物があるから生徒がオカルトに傾倒するんだ!」

「封印」

「ハァハァハァ」

「危険」

「……ん？」

「!?」

「うぎやははは!!
ワシの封印を
解いたのは
お前か!!」

「ワシはレイプ魔の
集合霊『邪恣』!!
久しぶりの生娘の
柔肌を楽しませて
もらおうか!!」

「な　なんだお前っ!!
離せ! 変な物を
こすり付けるな!!」

「……」

「……」



「金縛りの術!!」

「うっ」

「レイプは処女に限るんじゃ!! ひやひやひや!!」

「ややめっ いやっ……」

「うひゃひゃっ 膣が若すぎて根本まで入らんわい!!」

「うひゃひゃっ 膣が若すぎて根本まで入らんわい!!」

「……」

「いやああっ!! 痛いっ!! 痛いっ!!」

「うひゃひゃっ 膣が若すぎて根本まで入らんわい!!」

「あ……なんなんだコイツ……本当に幽霊……?」











「うっ、うっ、うっ、うっ」
やめペペペ

「アンタが二番気持ち良いトコ
知ってるんだからね♡」

「ああっ♡だめだめっ♡
あああ やだっ♡♡♡
イイっちゃうっ♡♡♡」

びんっ

ニやう

ぶしゃああ

おん

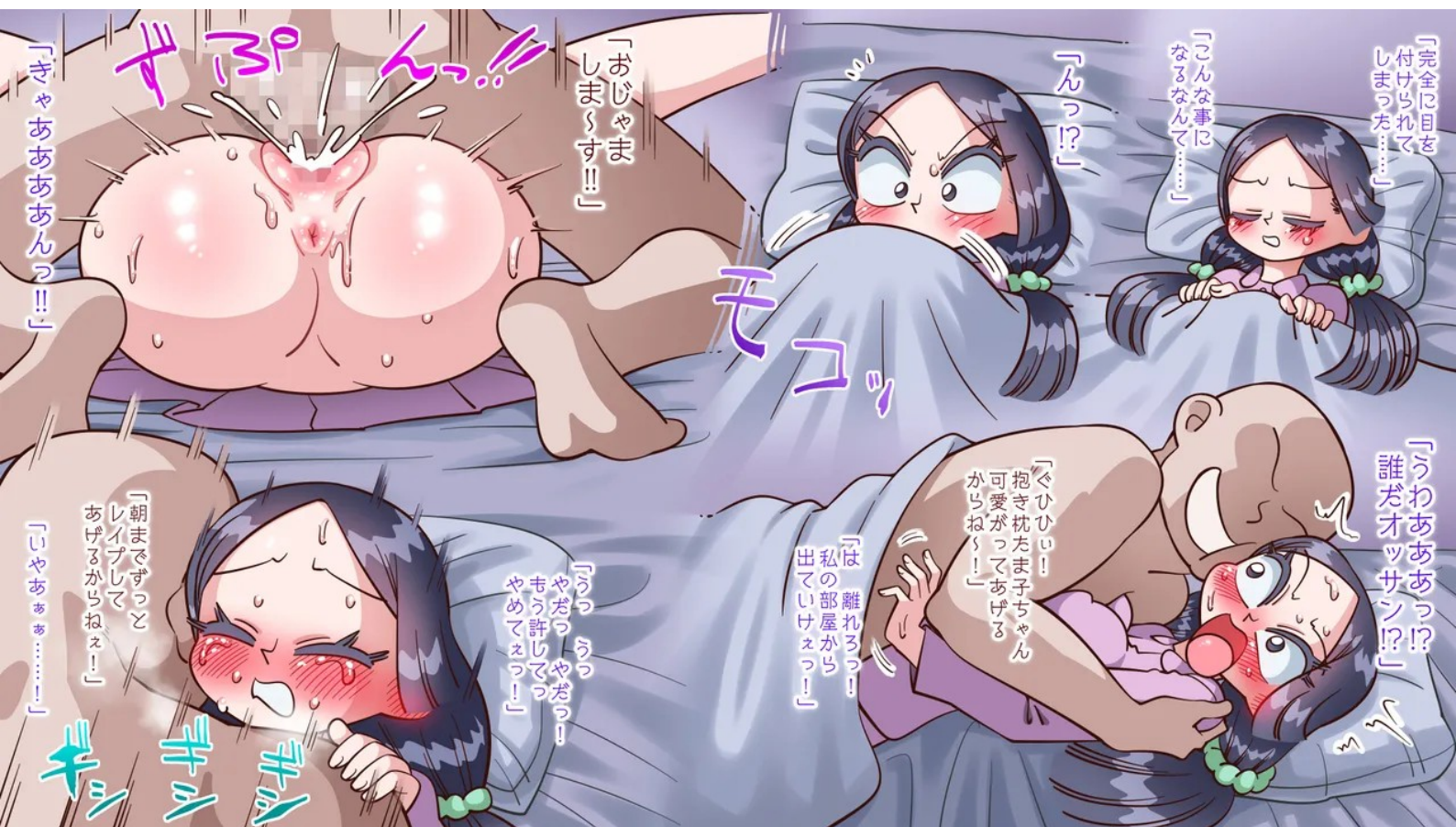
おん

「またイキたい時は
呼んでね♡」

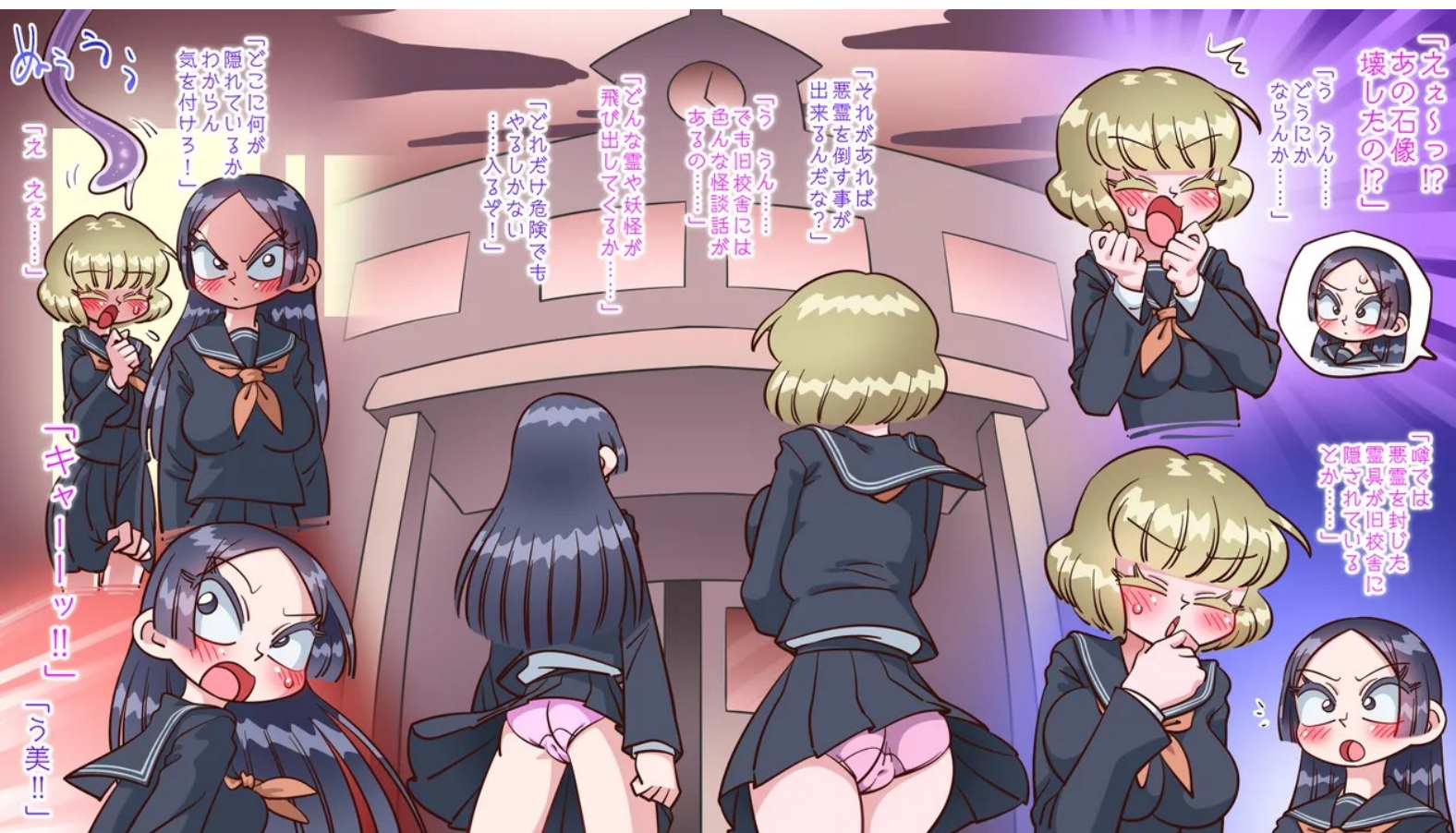
「はあ♡はあ♡
だ誰が
呼ぶもんか……♡」

びんっ

びんっ









「触手妖怪ようす!!!
妖怪の子供を
産みつけられるわ!!!」

「なんじゃ
そりゃ!?!」

「いやん!!!」

「うう美!
まずいっ!
ええいくそっ!」

どいっ

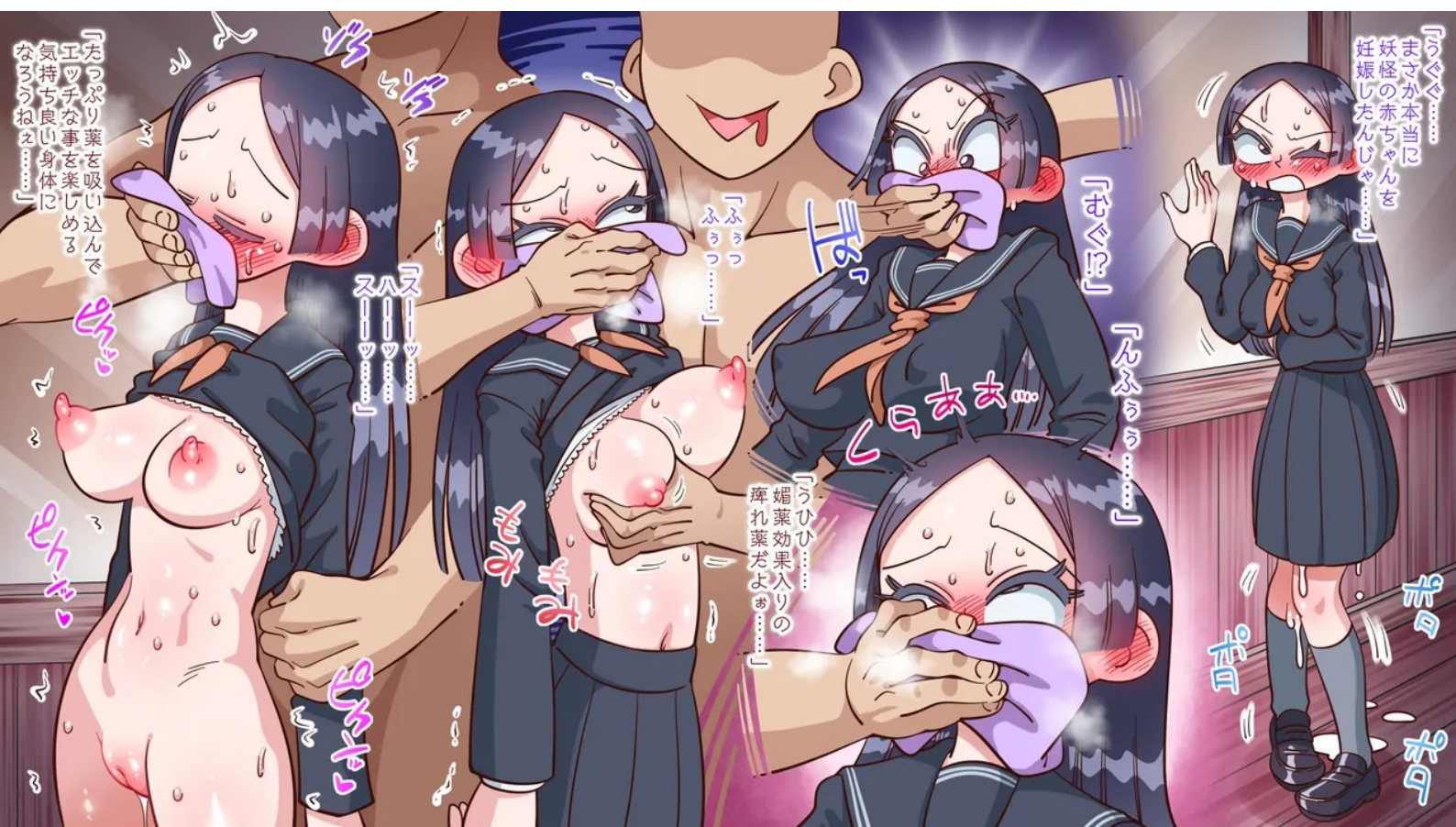
「あわわ……
産み付けて
まさか子宮にか!?!」

うネ

うネ

うネ







「はあ はあ……
酷い目に遭った……」

「全く油断できん！
次はどこから
来るんだ……!?」

「うっ」

「きゃああああんっ♡♡♡♡」

びくんっ!

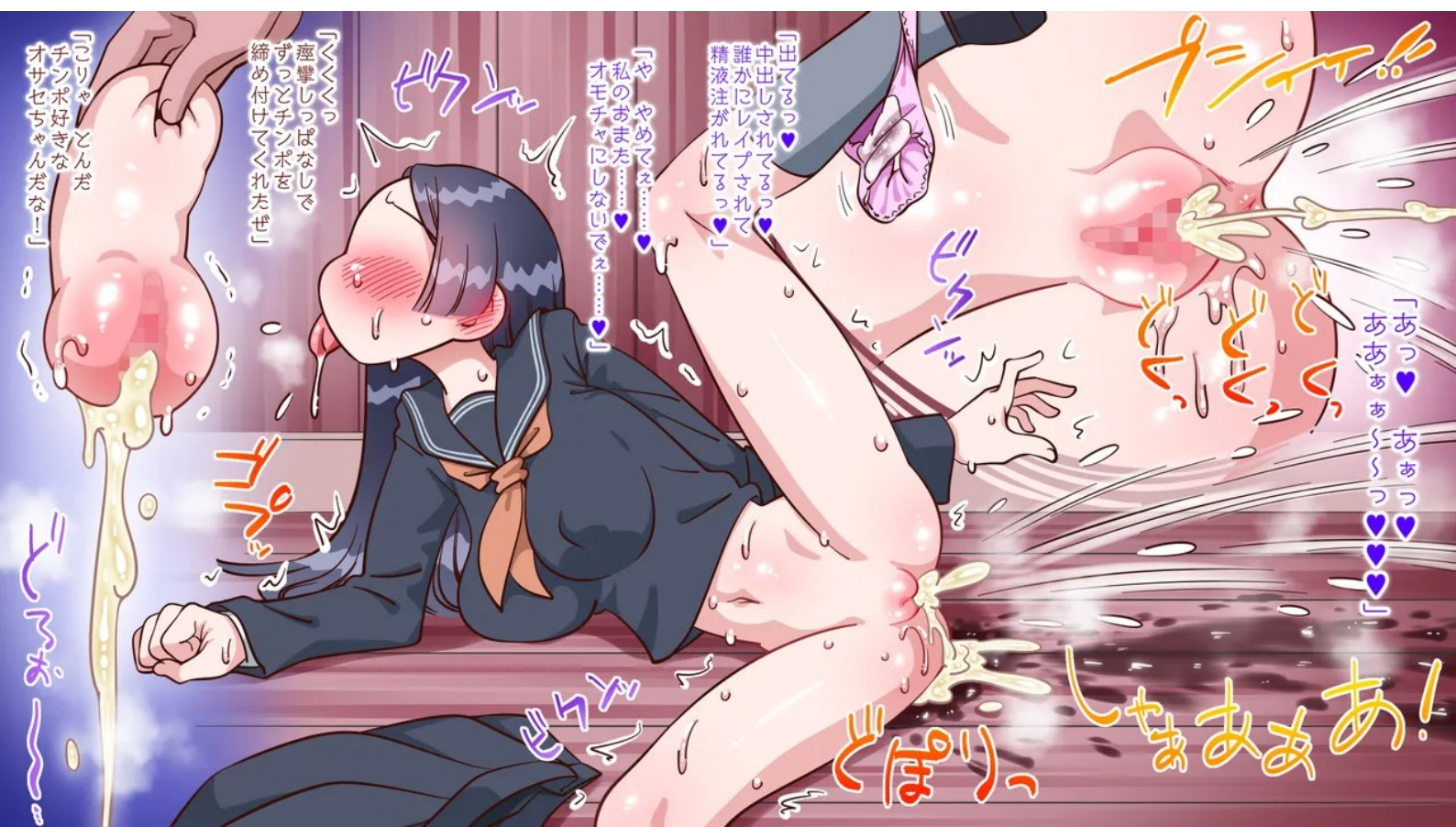
「な なんぞっ!?
だ 誰も居ないのにっ!」

「まさか別の場所から
レイプされてるっ?
は 激しっ♡ だめえっ♡♡」

ぬちゃ
ぬちゃ

ぴちゃ
ぴちゃ











「いやだっ!」
中学生なのに
出産なんが
いやだっ!」

「ううそっ!?
まさかあの
触手の奴が!」

「えっ………!」

「離せこの!
気色悪い!」

ぐぐぐ

「行っちゃいやんっ
モロと遊ばさっ♥♥♥」

「なんだ
気分が……?」

「……」





「ああ……
私はママじゃなから……
勘弁してくれ……」

「おぎやあ！
おぎやあ！
まま！まま！
うひやひや！」

「うん……
うん……
はあ……
はあ……」

「ひいっ ひいっ！
ふうっ ふうっ！
はひっ はひっ！
早く出てええっ！」

「おぎやあ！
おぎやあ！
まま！まま！
うひやひや！」

「おぎやあ！
おぎやあ！
まま！まま！
うひやひや！」



「はあ はあ
なんだコレ?」

「市しかして
霊具って
コレか!」

動かすな
融るな

封印中!!

「うっひっひ!!
こう使うんじやよお!!」

「う美!?
お前まさか
乗っ取られた
のか!」

「うひひ!ご名答!
そしてコレは
悪の力を増幅する
呪具なのじゃよ!」

「手下達が流した
噂にまんまと騙され
おって……
うひやひや!」

「ぞっ
ぞんなっ」

「ついに
手に入れた
ようだな……」

「う美!
無事だったのか」
「コレどうやって
使うんだ!」

「逃げても無駄じゃ!
お前はワシの性奴隷
なんじゃからなうっ!」

「ややだっ!
誰か助けてえっ!!」

だだだっ

のい のい

ヒッヒッ!!





「んふーっ……」
「んふーっ……」

びん

びん

びん
びん
びん
びん
びん

「んぶっ
んぶっ……」

「上手じゃん
たま子ちゃん！
性奴隷向いてる
んじゃない？」

「んぶっ
んぶっ……」

「もう出すよ
たま子ちゃん！
たっぷり飲んで
もううからね！」

「んぶっ……」

「そんな顔で睨まれたら
ゾクゾクしちゃうなア！」

びん

びん
びん
びん
びん
びん



「そのロッカーが
空いてるから
隠れなよ くくっ」

「はあ はあ……
喉がイガイガ
する……」

「おい！
たま子を
知らんか？」

「いや
見てない
ですわ」
「そうか」
「知らんか」

「んっ!」

「しっ! 静かにしないと
邪姦様にバレちゃうわよ？」

「大丈夫
ちよつとおマシコ
使うだけだから」

「ちよつとだけ
ちよつとだけ」

ぽんっ! ぽんっ!
ぽんっ! ぽんっ!

にゅっ!

ぬー





「み 見つけた
出口だ……」

「は 早く
逃げなきゃ……」

「こ 子供に
なってる!？」

「うひひひっ！
オイラの
若返りの術で
えっちで可愛い
ロリっ子ちゃんに
なれたね!」

「ま まさが……
この身体
私さ……」

「レイプッッ!!」

「やだっっっ!!」

ぬんっ
ぬんっ
ぬんっ

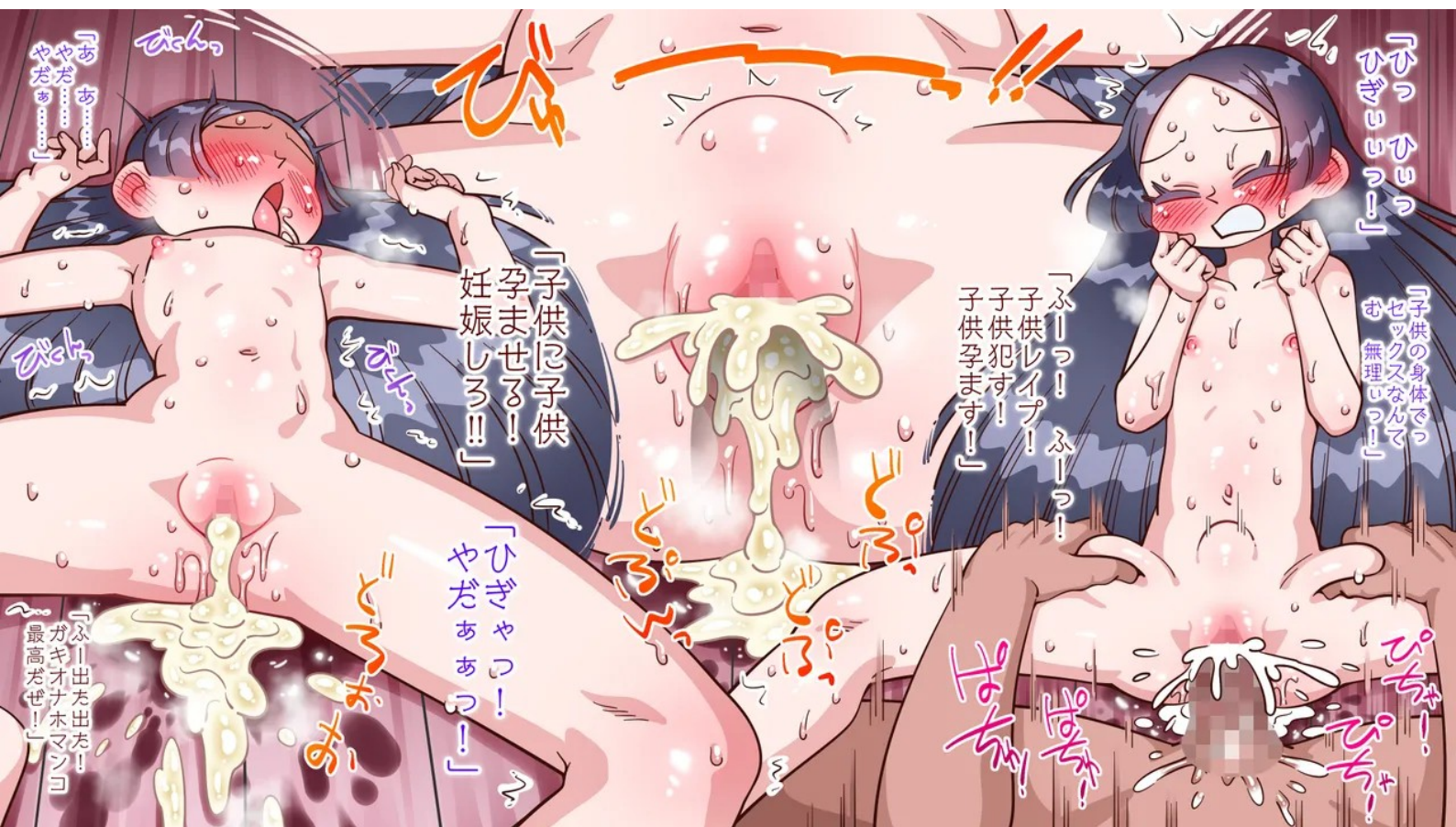
ガッ

ガッ

「えっ?」

するんっ!

「あっ あぐっ
やだっ 苦しいっ!
この身体じゃ
おちんちん
大きすぎるっ!」





「……」

「目覚めたようじゃな
お前はもうワシの手中じゃ！
逃げる事は出来んぞ！」

「ひうっ……
そんな……」

「ひゃひゃひゃ！
ぬめったいのう！
犯されまくってすっかり
膣が出来上がってるわい！」

「あっ♡ あっ♡
奥だめっ♡
届いてるっ♡」

「完全体となつた
ワシのペニスに
勝てる女なんぞ
おらんのだ！」

fermo











「なんだコノ馬鹿みたいなた好は……！」

「いやーん可愛いっ♡ 似合ってるわよ たま子ちゃん♡」

「にゃんにゃん喘ぎなさいっ♡」

「あっ♡♡♡ にゃん♡ にゃん♡ にゃん♡ にゃん♡」

「にゃああんっ♡♡」

「にゃはああ ああんっ♡♡♡♡」

「うふふ♡ よくできました！ はい♡ご褒美♡」

「にゃあんっ♡♡♡♡」

「はぁはぁ」

「はぁはぁ」

「はぁはぁ」



「あぁっ そんなっ
また妊娠してっ！」

「この時間の流れは
どうなってるんだっ！」

「ひーっ！ ひぎっ！
早く出てけっ！
私の体から……
出ていけえっ！」

「大変そうね
手伝って
あげるわ♥」
「あっ あっ
やめっ……！」

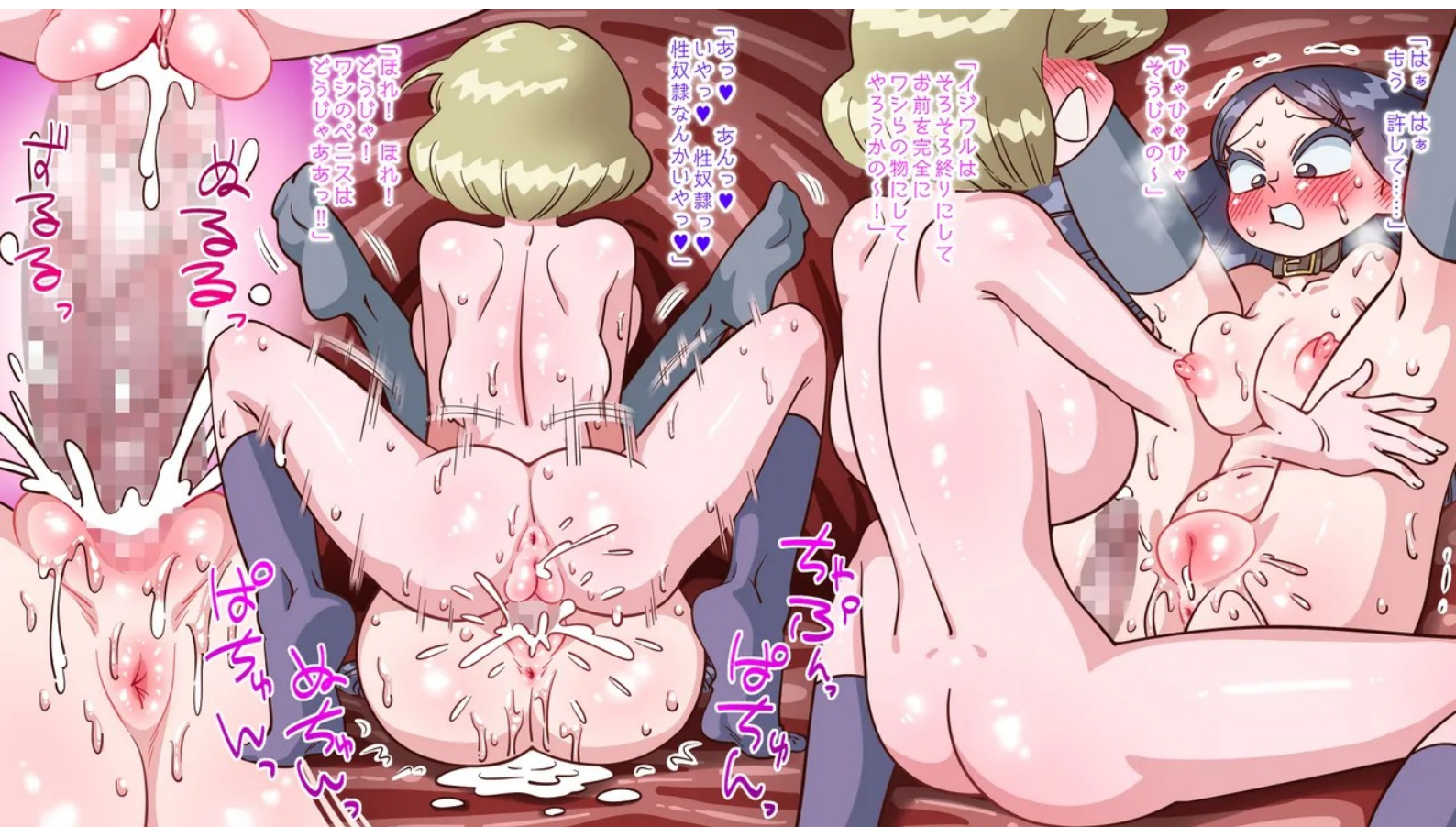
「ひいんっ!!」

「すくすく育って
ママをレイプ
しましうね♥」

「うひゃっ ばぶっ
ママ れいぶっ」

「はい
お誕生
おめでとう♥」

「はい
お土産♥」



「はあ
はあ
もう許して……」

「ひゃひゃひゃ
そうじゃの〜」

「イジワルは
そろそろ終りにして
お前を完全に
ワシらの物にして
やろうかの!!」

「あっ♥ あんっ♥
いやっ♥ 性奴隷っ♥
性奴隷なんかいやっ♥」

「ほれ! ほれ!
どうじゃ!
ワシのペニス
どうじゃあっ!!」

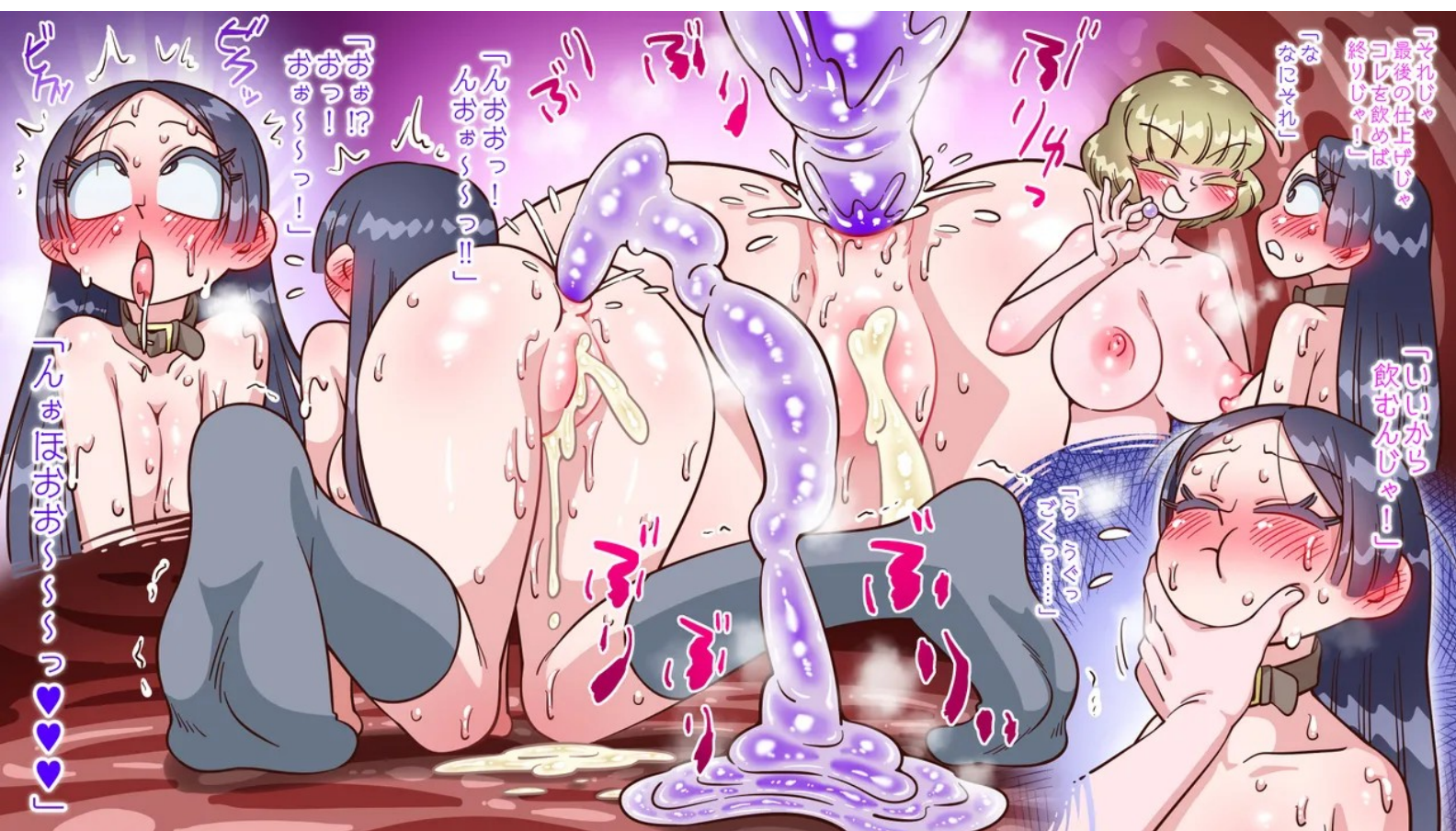
ぽぽぽ

おちんちん
おちんちん

おちんちん
おちんちん

ぽぽぽ













たま子は悪霊から逃げられなかった

終

著者 切傷甲
配信開始 2025年12月

■ブログ

<https://ci-en.dlsite.com/creator/4699>

■SNS

<https://x.com/kirikizu1>

■ご意見・ご感想など

https://odaibako.net/u/kirikizukoh_post





「こんな物があるから
生徒がオカルトに
傾倒するんだ!」

「封印
解除」



「うぎやははは!!
ワシの封印を
解いたのは
お前か!」

「ワシはレイプ魔の
集合霊『邪恣』!!
久しぶりの生娘の
柔肌を楽しませて
もらおうか!!」

「な　なんだお前っ!!
離せ! 変な物を
こすり付けるな!!」

「ずるり」





「金縛りの術!!」

「うっ!!」

「レイプは処女に限るんじゃ!! ひやひやひや!!」

「ややめっ いやっ……!!」

ズン! ズン!!

「いやあああ!! 痛いっ!! 痛いっ!!」

「うひゃひゃっ 膣が若すぎて 根本まで入らんわい!!」

「……」

ズン! ズン!!

「あ……なんなんだコイツ…… 本当に幽霊……?」

ズン! ズン!!

ズン! ズン!!

ズン! ズン!!







「人間子宮で
犬がキ孕めやあああつ!!」

「ゲツゲツケ!!
確実に遺伝子
混ざるように
満杯まで
注いでやるぜ!!」

「いやだあああつ!!」

「やうやだ...
もう満杯つ...
子宮が精液で
いっぱい!!」

「はーっはーっ
あ悪霊の次は
人面犬なんて...」



「ドッペルゲンガーに
決まってるんだろ？
うひひひひっ！」

「どうもこうも
ねーよ!!!」

「えっ!? えっ!?
わ 私がもう一人!?
ど どういう事!？」

「……え?
誰か居る?」

「汚れまみれだ……
シャワー浴びよう」

「はあっ はあっ
か 勘弁
してくれ……!!」

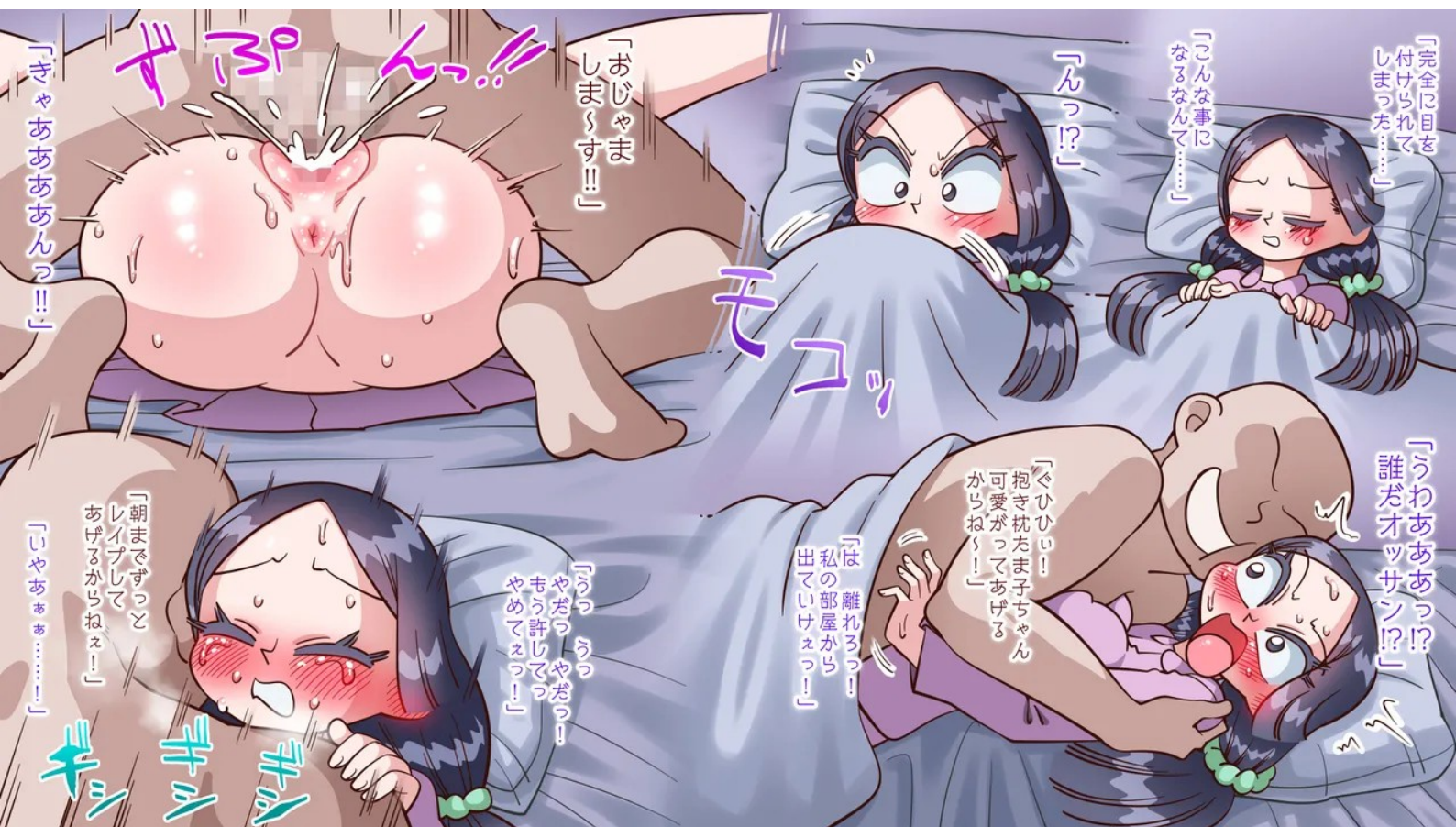
「おらーっ!!
もつと種付け
させろーっ!!」

「にゅー
にゅー
にゅー」

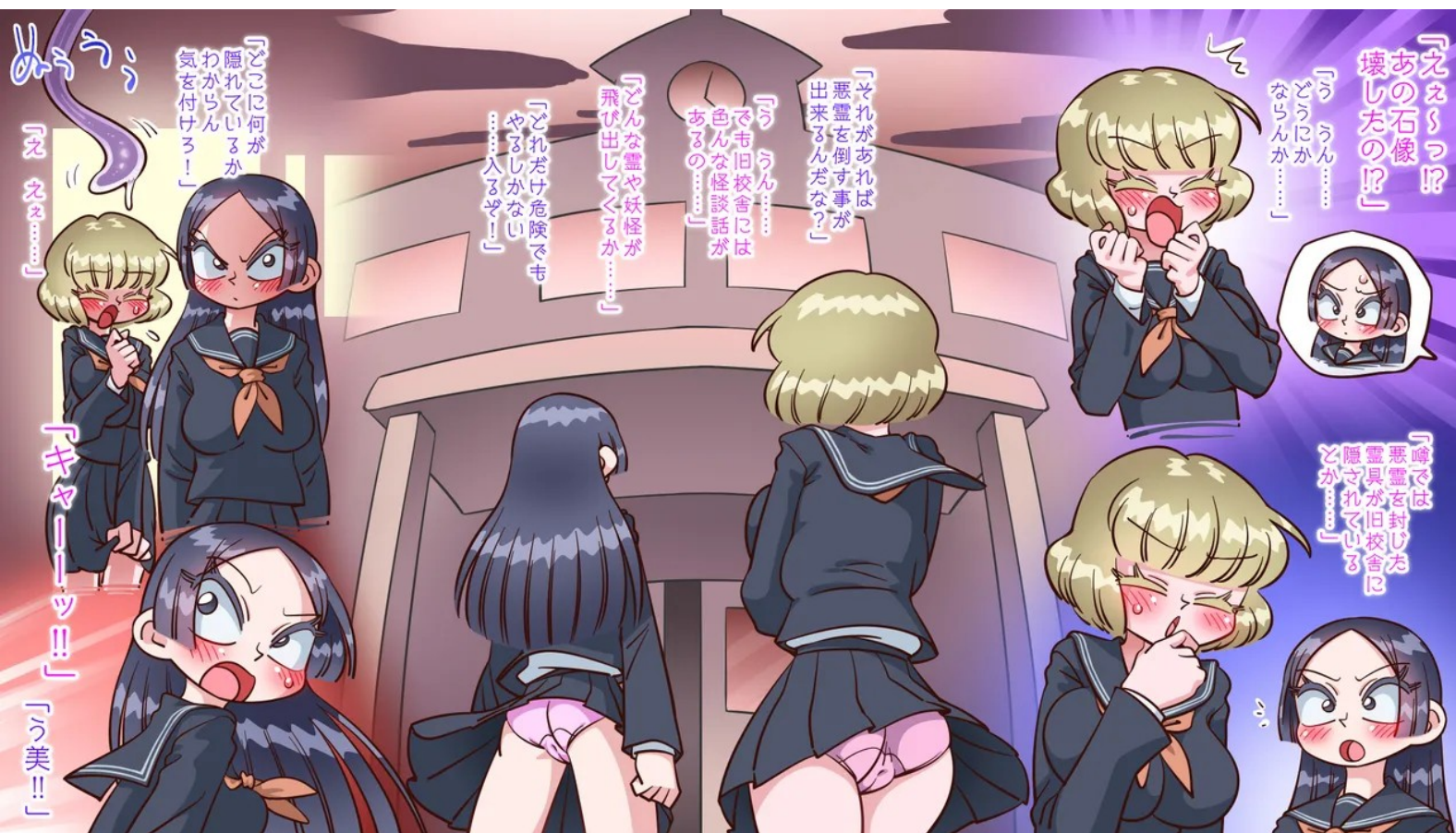
「はっ
はっ
はっ」

「はっ
はっ
はっ」









「ええっ!?
あの石像
壊したの!」

「うん...
どうにか
ならんか...」

「それがあれば
悪霊を倒す事が
出来るんだな?」

「うん...
でも旧校舎には
色んな怪談話
があるの...」

「どんな霊や妖怪が
飛び出してくるか...」

「どれだけ危険でも
やるしかない
...入るぞ!」

「どこに何が
隠れているか
わからん
気を付けろ!」

「噂では
悪霊を封じた
霊具が旧校舎に
隠されている
とが...」

「ギャーッ!!」

「う美!!」



「触手妖怪ようす!!!
妖怪の子供を
産みつけられるわ!!!」

「なんじゃ
そりゃ!?!」

「いやん!!!」

「うう美!
まずいっ!
ええいくそっ!」

どいっ

「あわわ……
産み付けて
まさか子宮にか!?!」

うネ

うネ

うネ



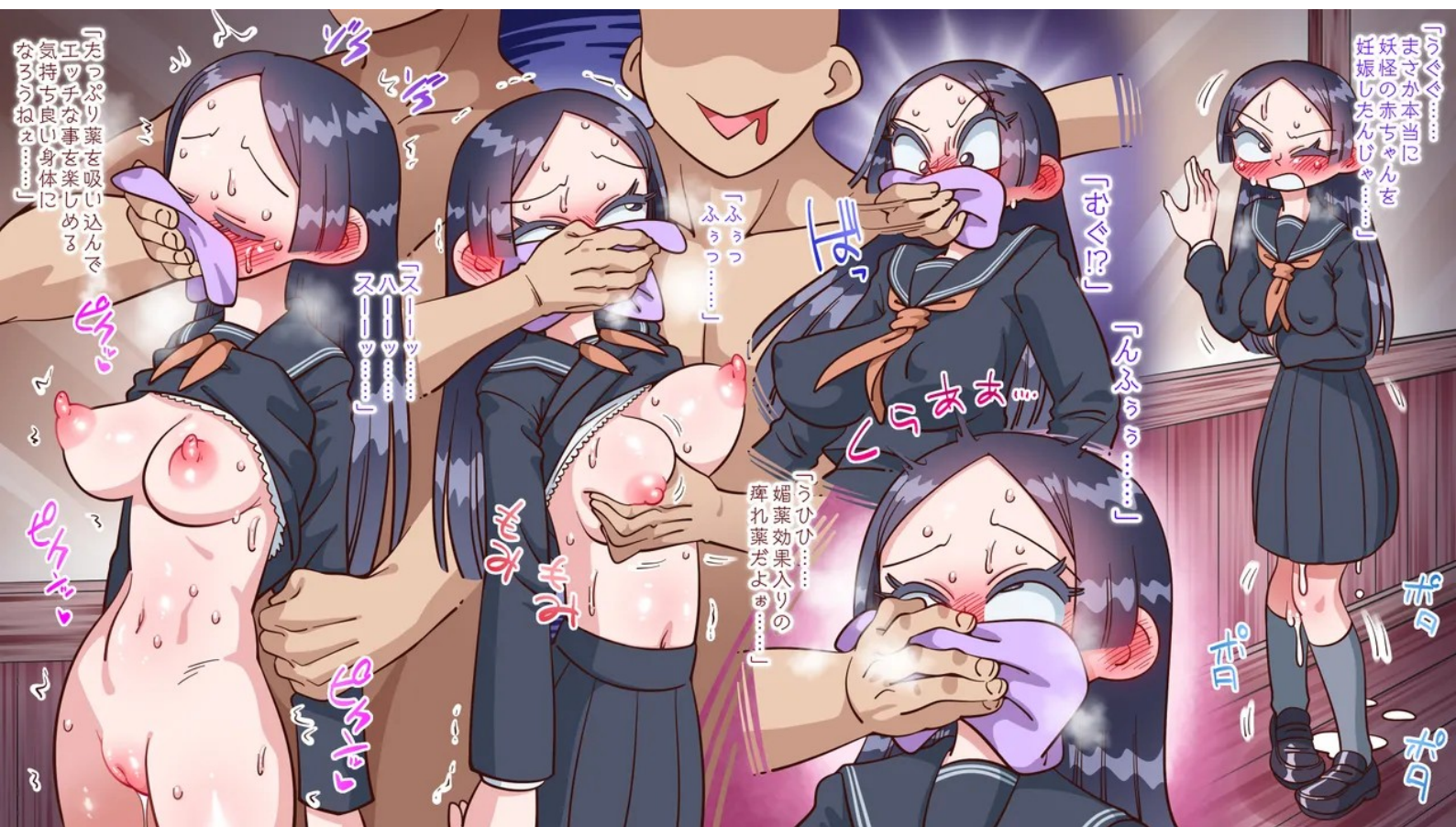
「あっ やっ やだっ！
太いっ！ お尻の穴
にまで……！」

「は 離せっ ♥
ずぼずぼ
するな あっ ♥」

「ああ ああっ ♥
だめ えええっ ♥
そんな大きいの
入らない いっ ♥」

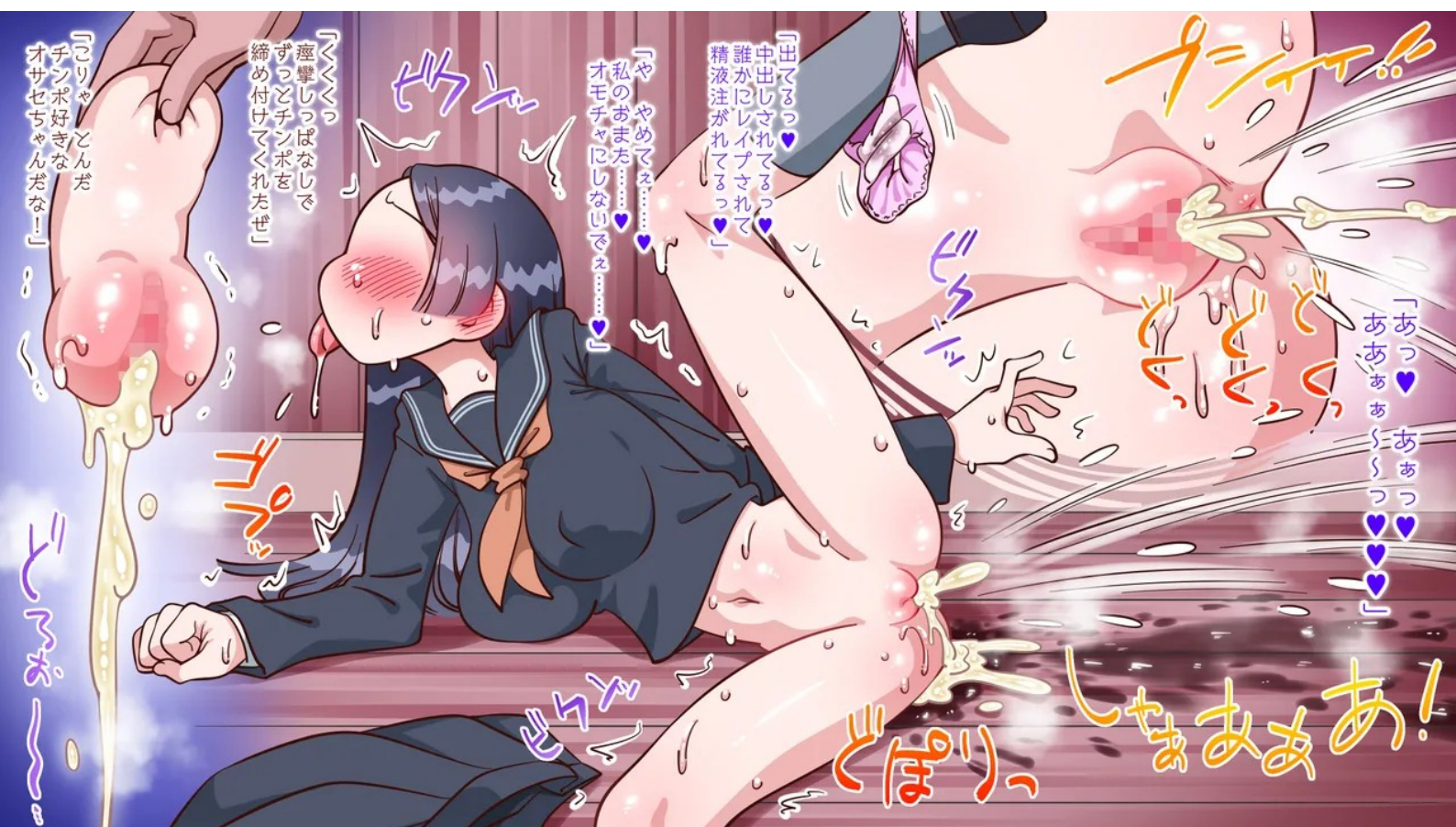
クソッ

「はひっ ♥ はひっ ♥」













「あっ ああっ！
やめろっ！
壁の向こうで
何をしてるんだっ！」

めっちゃ
めっちゃ

おはる！！

「あ ああ...
いこんなの
いやああ」

「あーん
おいひっつ
美少女おっぱ
なめなめ♡♡」

おはる
おはる
おはる

「うひっ♡ うひっ♡
エロっ♡ エロっ♡」

「いやあ
やめろっ！
やめてええっ！」

おはる

「うひっ♡
なかだし
なかだし♡」



「行っちゃいじゃんっ
モロと遊ばさっ♡♡♡」

ぐぐぐ♡♡♡

「離せこの！
気色悪い！」

「えっ………!？」

「ううそっ!?
まさかあの
触手の奴が!？」

「いやだっ！
中学生なのに
出産なんが
いやだっ！」

「なんだ
気分が……？」

「………」

ぽてー

びんびん

びんびん



「あああ……
私はママじゃなから……
勘弁してくれ……」

「うん
うん
うん
はあ
はあ……」

「ひいっ
ふっ
はひっ
早く出てええっ」

「おぎやあ
おぎやあ
まま！
うひやひや！」

「おぎやあ
おぎやあ
まま！
うひやひや！」

「おぎやあ
おぎやあ
まま！
うひやひや！」



「はあ はあ
なんだコレ?」

「市しかして
霊具って
コレか!」

動かすな
融るな

封印中!!

「うっひっひ!!
こう使うんじやよお!!」

「う美!?
お前まさか
乗っ取られた
のか!」

「うひひ!ご名答!
そしてコレは
悪の力を増幅する
呪具なのじゃよ!」

「手下達が流した
噂にまんまと騙され
おって……
うひやひや!」

「ぞっ
ぞんなっ」

「ついに
手に入れた
ようだな……」

「う美!
無事だったのか」
「コレどうやって
使うんだ!」

「逃げてても無駄じゃ!
お前はワシの性奴隷
なんじゃからなうっ!」

「ややだっ!
誰か助けてえっ!!!」

だだだっ

のい のい

ヒッヒッ!!





「んふーっ……」
「んふーっ……」

「そんな顔で睨まれたら
ゾクゾクしちゃうなァ！」

びしょ

びしょ

ぐわ
ぐわ
ぐわ
ぐわ
ぐわ

「んぷっ
んぷっ……」

「上手じゃん
たま子ちゃん！
性奴隷向いてる
んじゃない？」

「んぷっ
んぷっ……」

「もう出すよ
たま子ちゃん！
たっぷり飲んで
もううからね！」

「んぷっ……」

ぐわ

ぐわ
ぐわ
ぐわ
ぐわ
ぐわ



「そこのロッカーが 空いてるから 隠れなよ くくっ」

「はぁ はぁ... 喉がイガイガ する...」

「おい! 大ま子を 知らんか?」

「いや、 見てない ですぬ」
「そうか... 知らんか...」

「んっ!」

「しっ! 静かにしないで 邪姦様にバレちゃうわよ?」

「にゅっ!」

「んっ!んっ! んっ!んっ!」

「大丈夫♡ ちよつとおマシコ 使うだけだから♡」

「ちよつとだけ♡ ちよつとだけ♡」

ぽんっ! ぽんっ! ぽんっ! ぽんっ!

ぬーっ





「み 見つけた
出口だ……」

「は 早く
逃げなきゃ……」

「えっ？」

「するんっ！」

「こ 子供に
なってる!?」

「うひひひっ！
オイラの
若返りの術で
えっちで可愛い
ロリっ子ちゃんに
なれたねっ！」

「ま まさが……
この身体
私さ……」

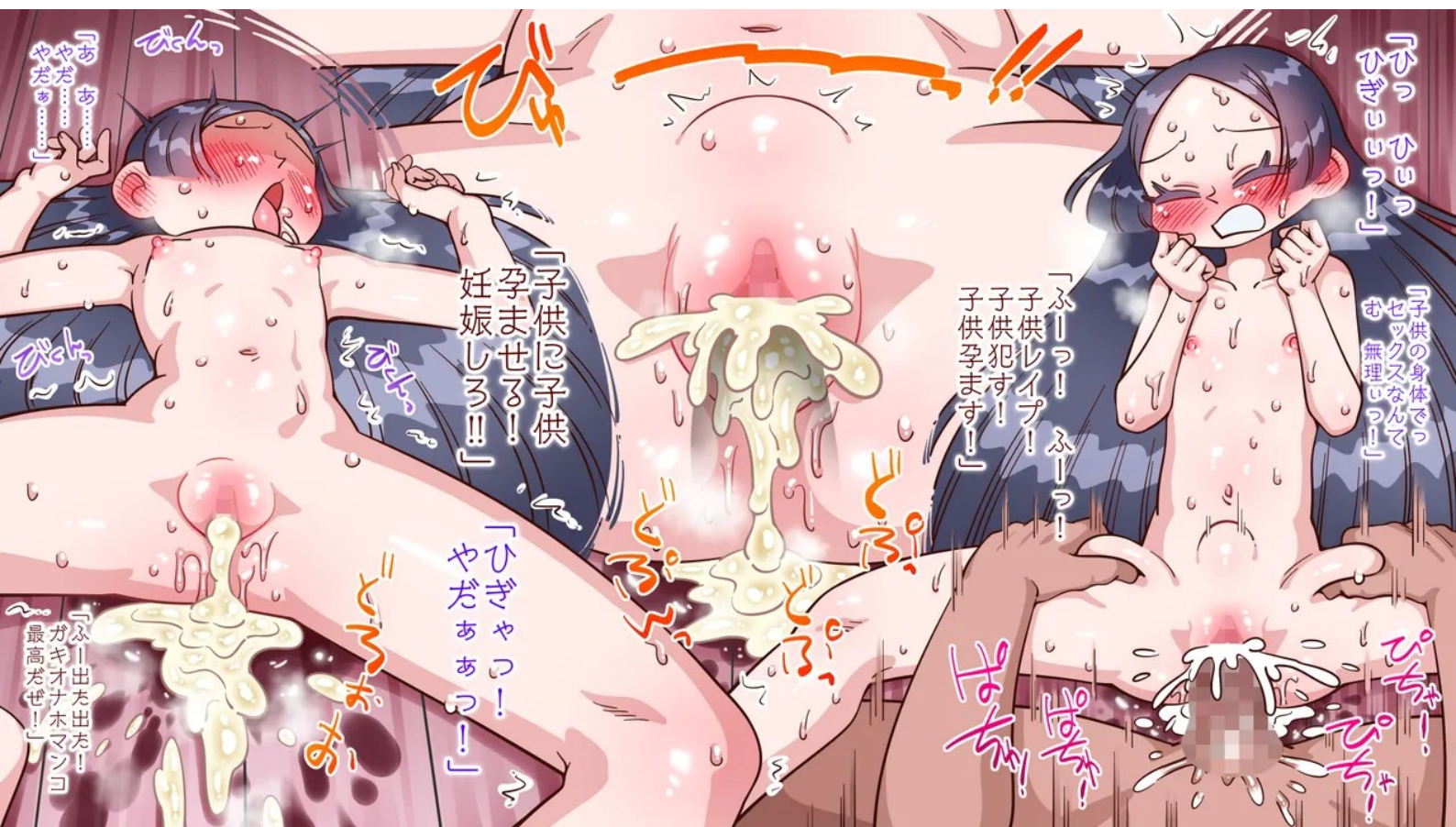
「レイプッッ!!」

「やだっっっ!!」

ぬんっ
ぬんっ
ぬんっ

ぱんっ!!

「あっ あぐっ
やだっ 苦しいっ！
この身体じゃ
おちんちん
大きすぎるっ！」





「ああ、こは……」

「目覚めたようじゃな
お前はもうワシの手中じゃ！
逃げる事は出来んぞ！」

「ひうっ……
そんな……」

「ひゃひゃひゃ！
めめったいのう！
犯されまくってすっかり
膣が出来上がってるわい！」

「あっ♡ あっ♡
奥だめっ♡ あっ♡
届いてるうっ♡」

「完全体となっ夫
ワシのペニスに
勝てる女なんぞ
おらんのじゃ！」

fero no



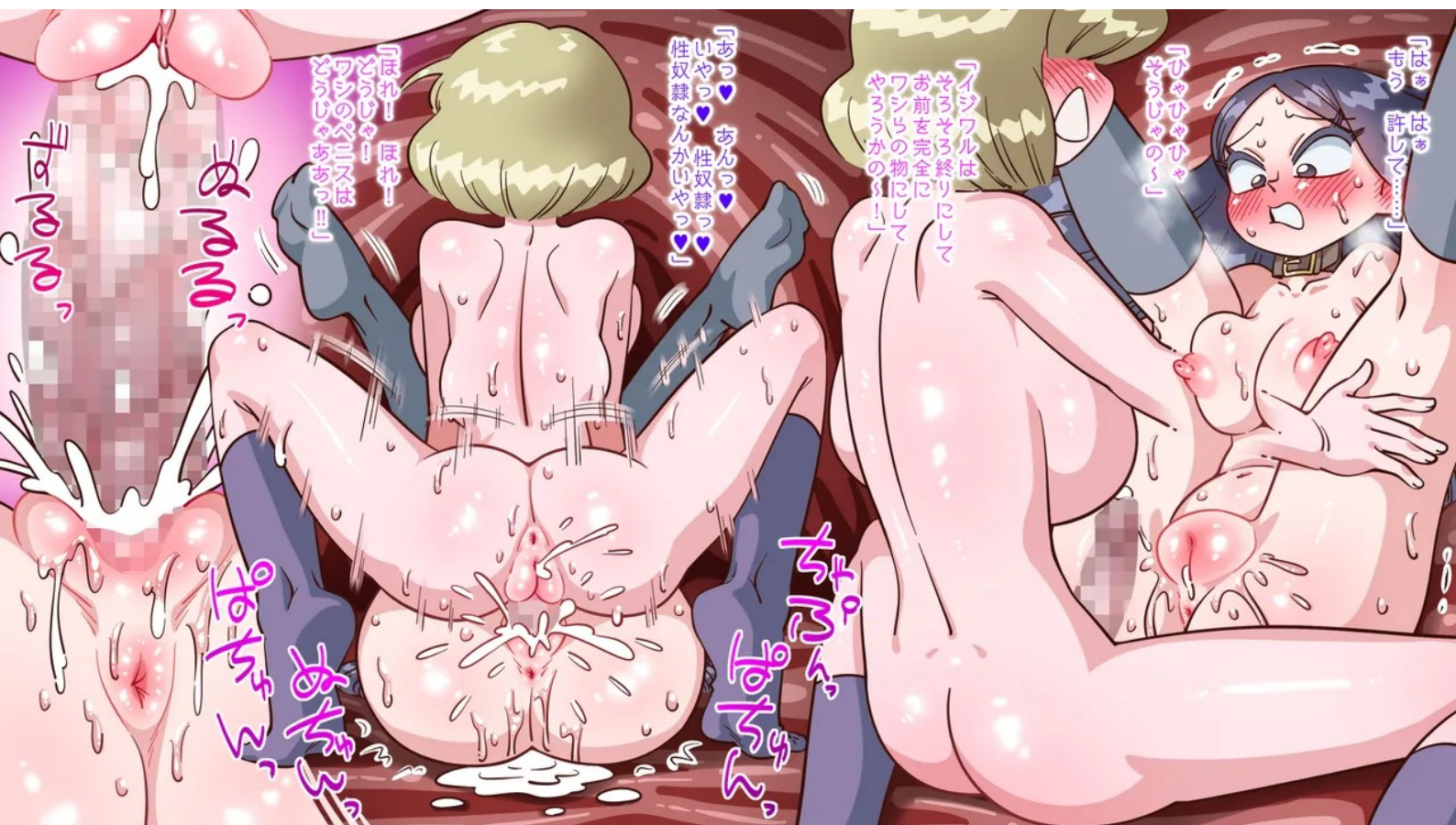












「はあ
はあ
もう許して……」

「ひゃひゃひゃ
そうじゃの〜」

「イジワルは
そろそろ終りにして
お前を完全に
ワシらの物にして
やろうかの!!」

「あっ♥ あんっ♥
いやっ♥ 性奴隷っ♥
性奴隷なんかいやっ♥」

「ほれ! ほれ!
どうじゃ!
ワシのペニス
どうじゃあっ!!」

ぽぽぽ

おちんちん
おちんちん

おちんちん
おちんちん

ぽぽぽ



